



第100号 令和3年
3月1日



お元気だより
合併号



～そぞろてようみんなの力で愛の輪を～



社会福祉協議会が市から指定管理を受けて運営しています

発行 社会福祉法人
矢板市社会福祉協議会

編集 社協だより編集委員
矢板市扇町二丁目4番19号
TEL 0287-44-3000
43-4611
43-8700
(あすてらすやいた)

印刷 株式会社 幕 竜

目
次

- 令和2年度年末年始ボランティア活動事業報告 2
- 福祉活動表彰 3
- ご利用ください 4, 5
- 助け合い・支え合いのある地域づくり 6~8
- お元気だより 9~11
- ご協力ありがとうございます 12



「社協だより」100号にあたり

矢板市社会福祉協議会長 福田 博光

お蔭をもちまして本協議会の広報紙「社協だより」の発行も100号を数えるに至りました。これからも皆様との価値ある「双方向の情報・広報紙」として、より一層の内容の充実を図って参ります。

さて、社会福祉サービスの供給の目的は、自立生活の支援、自己実現、社会参加の促進、社会的統合力の発展維持であります。これらの実現のため、本会も市当局等との連携のもと、高齢者世帯等の安否確認や給食等の福祉サービスの提供、高齢者や、今般、開館を迎えた「こども未来館」を始め、子どもたちが気楽に集える「サロン活動」の実施、「助け愛、支え愛の地域づくり」を進めるための協議体の活動支援、災害時を中心としたボランティア活動に関する相談等を行っております。

地域福祉の推進を図るため、皆様の今後とものお力添えを重ねてお願い申し上げます。

令和2年度年末年始ボランティア活動事業報告

皆さんからの歳末たすけあい募金を原資として、日頃から市内で活動しているボランティア団体に対し、年末年始のボランティア活動を行うにあたって、活動費を助成いたしました。

各団体の特色を生かした活動をされています。

団 体	ボランティア活動
片岡四区ボランティア「たかくらの会」	クリスマスツリーやイルミネーション、お花や果物、お餅など年末年始施設の方にプレゼントを届けた。
矢板市更生保護女性会	シクラメンやポインセチア、ミカンやお菓子、手作りマスクなど親元から離れて那須学園で生活している子どもたちにプレゼントを届けた。
青少年リーダー育成・子育て生涯学習支援ソフィア	クリスマス飾りやクリスマスカードを手作りし、市内施設に配付した。
矢板駅前コンフォート	毎年恒例の矢板駅前ロータリーと周辺にイルミネーションを飾った。
おはなしポットの会	ワークスたかはらや花りんごに訪問し、お話し会を実施。靴下やお菓子、紙芝居などをプレゼントした。
ガールスカウト第22団	鬼の面や花飾りをつくり、市内施設に配付した。
傾聴笑がお	やしお苑やつづじ苑を訪問し、DVDとプレイヤーをお届けした。
老人給食ボランティア	クリスマスに提供した特別食とともに、手作りマドレーヌやマスク、ホッカイロなどをお届けした。
ふるさと創年大学ぶらぶらクラブ	りんご狩りの際の見守りやクリスマス会ではサンタクロースに扮し、子どもたちにプレゼントを渡した。
矢板市シニアクラブ連合会	市内4か所の施設に要望に合わせて、パンの缶詰や非接触型の体温計などをクリスマスプレゼントとして贈った。

地域共生社会のまちづくり

矢板東高校定時制

「新型コロナウイルス感染症による差別を防止しよう」をテーマとした思いやり福祉講座を実施しました。

新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があることを考え、感染症に不安を抱えている人の気持ちについて理解を深めました。また、新型コロナウイルス感染症差別防止として取り組まれているシトラスリボンを作り、自分たちができるを考えました。

川崎小学校（4年）、乙畠小学校（4年・5年）

福祉講座で車イス介助や高齢者疑似体験を実施しました。

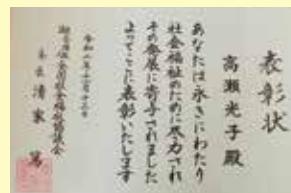
車イス利用者や高齢者の気持ちを考えることで、思いやりの気持ちを育みました。体験した児童から「街中で困っている人がいたら、声をかけて、助けてあげたい」との感想がありました。





令和2年度 全国社会福祉協議会長表彰

永年勤続功労表彰 高瀬 光子さん
(社会福祉法人たかはら学園)



高瀬光子さん 福田会長



濱端理事長

濱端次長

福祉活動表彰

(敬称略)

◎ボランティア部門

- 現在活動中のボランティアまたはボランティアグループ、ボランティア校、その他の団体で、7年以上福祉に関する活動を行い、他の模範であるもの
- 乙川 和子 (老人給食ボランティア)
- 笛沼 愛子 (老人給食ボランティア)
- 佐野 愛子 (老人給食ボランティア)
- 高塙 公子 (老人給食ボランティア)
- 坪山 信子 (老人給食ボランティア)
- 中村 治代 (老人給食ボランティア)
- 大木 公子 (ガールスカウト第22団)
- 中山 介夫 (青少年リーダー育成・子育て生涯支援ソフィア)
- 西田美智子 (老人給食ボランティア)
- 片山アサ子 (老人給食ボランティア)
- 末永 弘子 (老人給食ボランティア)
- 中村 徳正 (老人給食ボランティア)
- 丸山 重雄 (老人給食ボランティア)
- 矢口 光一 (老人給食ボランティア)

◎地域福祉振興基金等寄付者部門

- 当該年度において、地域福祉振興基金（高原基金）等に20万円以上寄付したもの
- 宇都宮ヤクルト販売株式会社
- 社会福祉法人寿光会・矢板保育園保護者会・矢板保育園職員 一同
- 矢板中学校 PTA 保健厚生部

◎令和2年度福祉標語コンクール受賞作品

応募総数867作品（小学校275作品、中学校188作品、高校404作品）の中から次の作品が入賞となりました。受賞されました皆さん、おめでとうございます。福祉標語をきっかけに、福祉や思いやりについて考えるきっかけとなって頂ければ幸いです。

●会長賞

未来へと 福祉で繋ぐ 地域の絆

西原帆乃花 (矢板高校)

●最優秀賞

おもいやる みんなのこころが たからもの
高山 芳 (川崎小学校)

勇気出す!! 1人の力が 道しるべ
薄井萌百花 (矢板小学校)

助け合い 笑顔にさせる 福祉の心
村上 圭吾 (泉中学校)

ボランティア あなたの意志で 変わる未来
鈴木 愛華 (矢板高校)

●優秀賞

おもいやり こころとこころが てをつなぐ
三堂地唯仁 (川崎小学校)

思いやり 心を支える プレゼント
伊藤 琉稀 (東小学校)

その一步 誰かの役に 立てるはず
渡辺 琳子 (片岡中学校)

思いやり 小さな気づかい 大きな変化
小野航太郎 (矢板高校)

令和2年度福祉教育推進事業

～思いやりのまちづくりと支え合い活動～

矢板市内の小中高等学校を対象に、たかはら基金の益金を原資とした福祉教育推進費を交付しました。この交付金を活用し、各学校において、福祉活動や思いやりのまちづくりに取り組みました。



泉中) マスクづくり



片岡中)片岡駅ロータリー花壇への植栽



無料で貸し出しています

◎リフト付ワゴン車

利用する3日前(土・日を除く)までにお申し込みください。
電話予約もできます。
返却時にガソリンを満タンにしてください。

◎車椅子(大人用・子ども用)

一時的に車椅子が必要な方にお貸ししています。

◎きずな館2F会議室

ボランティア活動を目的としたグループが利用できます。
※コロナ禍のため現在利用を制限しています。

最大20名 1時間程度

*ボランティア登録が必要です。

月～金曜日 午前9時～午後5時

土曜日 午前9時～午後3時

事前に電話で申請してください。

休館日 日曜日、国民の祝日、12月29日～1月3日

困りごと・悩みごとはこちらまで!

◆無料法律相談会

- 日時：毎月第3木曜日(休日等の場合は翌日)
9時～12時
- 場所：きずな館 2F会議室
- ◎予約制 相談日前々月の1日から受付

◆心配ごと相談

- 日時：毎週火曜日(第2火曜日、祝日を除く)
9時～12時
- 場所：きずな館 2F会議室
- ◎予約不要 直接おいでください。

◆成年後見無料相談会

- 日時：奇数月第3水曜日 10時～12時
- 場所：きずな館 2F会議室
- ◎予約制 事前に予約が必要です。

地域で子育て 矢板市ファミリーサポートセンター

1.会員数(1月末日現在)

総会員数	310人
提供会員	93人
依頼会員	190人
両方会員	27人

2.令和2年度活動状況(4～1月) 94件

主な活動内容

- ★学校のお迎えと自宅への送り 60件
★自宅から習い事への送り 24件



～募集しています～

キッチンやいた

— 食でつながる人と地域 —



◀安沢ほほえみ会
豆もちの寄付
(年末訪問の際に
配付しました)

年末生活支援品▶



米、野菜の寄付の登録をお願いします

令和2年年末訪問実績

27世帯(米、野菜、豆餅、乾麺他)

音訳ボランティア(簡単なパソコン操作が出来る方)

★活動内容 目の不自由な方へ、市の広報・社協だより・議会だより等を DAISY(パソコンを使用してCDに編集)で郵送します。

★活動場所 矢板児童館又は自宅

★活動時間 隔月2回(年12回)日時、日程はグループで調整

ボランティア連絡会登録

★随时受け付けております。登録すると市内のボランティアグループや市民活動グループの横の連携、情報交換するため各団体のプロフィールを自由にご覧いただけます。



権利擁護センター あすてらすやいた

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などの判断能力が十分でない方の権利と財産を守り、地域で安心して自立した生活を送れるようにお手伝いするのが、権利擁護センター「あすてらすやいた」です。

◎次のようなことでお困りの方はお気軽にご相談ください。

- ・日常的な金銭の管理に不安がある。
- ・福祉サービスの利用手続き等の手伝いをしてほしい。
- ・通帳や印鑑等の保管に不安がある。など

◎必要に応じて次のような3つのサービスを利用することができます。

◆福祉サービスの利用援助

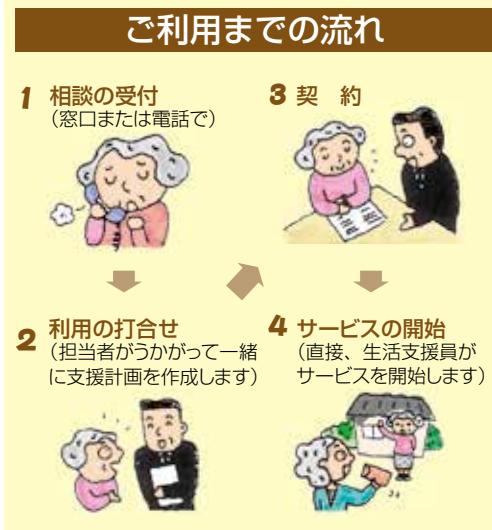
様々なサービスについての情報提供や専門家の紹介、サービス申し込み手続きの代行や、本人に同行して支援等を行います。

◆日常的金銭管理サービス

本人に代わって預貯金の出し入れ、公共料金や家賃の支払い等を行います。

◆書類等預かりサービス

預金通帳、権利書、保険証書、実印等を安全に保管します。



愛の訪問事業

社会福祉協議会では、**80歳以上のひとり暮らしの方**の安否確認を主な目的として、ヤクルトの無料配付を行っています。

こんな方が
利用できます。

♥ 80歳以上でひとり暮らしの方
(同一建物・同一敷地内または、近隣に近親者が居住している場合は対象外)

♥ 介護サービス等(デイサービス・ホームヘルパー・高齢者給食サービス)を週2回以上利用していない方

老人給食サービス

社会福祉協議会では、高齢者を対象に栄養のある食事を提供すると共に、安否確認を主な目的として、老人給食の配付を行っています(1食200円、週1回配付)

こんな方が
利用できます。

♥ 70歳以上でひとり暮らしの方、
高齢者のみの世帯の方
(同一建物、同一敷地内または近隣に近親者が居住している場合は対象外)

♥ 介護サービス等(デイサービス・ホームヘルパー・愛の訪問事業)を週3回以上利用していない方

令和3年度
ボランティア保険
加入受付中！

令和2年度のご加入契約は、すべて令和3年3月31日で補償期間が終了します。
令和3年度の保険加入は、現在も受付中です。

●不要入れ歯回収中●

ボックス
設置場所

- 矢板市保健福祉センター1F
- 矢板・泉・片岡の各公民館
- 矢板市くらし安全環境課(市役所本庁舎1階)

- 矢板市社会福祉協議会(きずな館内)
- 泉はつらつ館



問い合わせは 矢板市社会福祉協議会 ☎44-3000/☎43-8700(あすてらす専用)

矢板市社会福祉協議会は、地域で暮らす様々な人たちが、世代や分野を超えて連携・協働し、高齢になっても安心して暮らし続けられるまちを目指して、地域の助け合い・支え合いを推進しています。



地区社会福祉連絡会(地区社会福祉協議会)は、自分たちの暮らしている地域での福祉的な困り事を、自分たち自身の問題として取組み、自分たちの地域をより住みやすい地域としていく活動を行う任意の団体です。

地区社会福祉連絡会情報交換会を実施しました



市内で設立されている4ヶ所の地区社会福祉連絡会（沢行政区・木幡東行政区・片岡四区行政区・ハッピーハイランド矢板行政区）が集まり、行っている活動や取組みの紹介、課題などについて情報交換を行いました。



矢板市社会福祉協議会は、それぞれの地域の状況・ニーズに応じて、さまざまな住民主体の活動を支援しています。



自宅で身体を動かす機会をつくってもらえばと、『手ぬぐいストレッチ』を地区社会福祉連絡会の見守り活動時などに配付していただきました。（栎の実基金補助事業を活用しています）



介護サポーター入門講座(介護に関する入門的研修)は、矢板市から委託を受け、生活支援の仕方や介護について学ぶ初心者向けの講座として、毎年実施しています。

今年度はコロナ禍により、感染対策を講じたうえで実施しました。



高齢者疑似体験



車いすなど移動の介助方法



着替えの介助



介護の基本、認知症や障がい者への支援やかかわりかたなどを講義と実技を通して学びました。



全8日間にわたる研修を終え、修了証が交付されました。



地域の見守り



～咲かせよう！支え合いの花～

あいさつや声かけ、ちょっと気にかけるなど、ご近所同士のつながりが孤立防止や困りごとの早期発見につながります。

小さな「気づき」から大きな「ちからと安心」が生まれます。さりげない見守りからはじめてみませんか？



矢板市社会福祉協議会では、赤い羽根共同募金助成金を利用して、地域の見守り活動を応援しています。

第2層協議体

第2層協議体は、地域のみなさんの話し合いの場です

高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らすためには、住民同士の助け合い・支え合いがとても大切です。第2層協議体では、地域で行なわれている助け合い活動や「こんな手助けがあったらいいな」と思うことなどの情報交換・話し合いを行っています。



矢板 助け合いの会「やさしい手」

第4金曜日 14:00～
会場:生涯学習館



泉 ぼっちの会

第3金曜日 14:00～
会場:泉公民館



片岡 ささえあいの会

第4水曜日 14:00～
会場:片岡公民館

関心のある方の参加をお待ちしています！まずはお気軽に、社会福祉協議会までご連絡ください。
※新型コロナの状況により、休止となることがあります。

シトラスリボンプロジェクト

～ただいま、おかえりって言い合えるまちへ～



コロナ禍で生まれた差別や偏見をなくし、感染者や医療従事者など私たちの暮らしを守り支えてくれる方々が、それぞれの暮らしの中で「ただいま」「おかえり」を言い合えますようにと願いを込めて、愛媛県から始まったプロジェクトです。

令和2年12月から矢板市内でも感染者が増え、必要性をあらためて感じ、作製や配付の活動を行っています。
まずはこのプロジェクトを知つもらうことから…

窓口に設置し、お配りしています！



サロンなどでもお配りしました！

昨年5月以降、安沢ほほえみ会から、作製したシトラスリボンをいただき、窓口に設置しました。当時は知らない方がほとんどでしたが、関心を持ち手に取つていかれる方多かったです。

今回はシトラスリボンの材料や作り方などを教えていただきました。

受け取つた方から、「自分たちも活動に参加したい！」
とシトラスリボンづくりに協力をいただきました。

ありがとう
ございました！



縁ジョイ講座やいたシニアマイスター・縁ジョイサポーター連絡会



普段行っている活動の紹介

講座で行う作品の説明



令和2年度は、コロナ禍で縁ジョイ講座の開催が中止となり、思うような活動はできませんでしたが、来年度に向けて、活動計画などを話し合いました。



令和3年1月からきらりんサポーターが変わりました!!



ボランティア活動を通し社会参加・地域貢献することで地域とのつながりを深め、自身の介護予防、健康維持促進を後押しするため、お元気ポイントのきらりんサポーターが、令和3年から対象者、対象となる活動、ポイント付与数などが変更になりました。

きらりんサポーターとして活動を行う場合には、養成講座を受講し、シニアボランティアセンターへの登録が必要となります。

日程などの詳細は、社会福祉協議会までお問い合わせください。



きらりんサポーター養成講座を実施しました



令和2年12月3日、4日 老人給食ボランティア



令和2年12月22日
介護施設ボランティア、居場所活動支援ボランティア

長年ボランティア活動を行っている方ばかりで、意識も高く、とても熱心に話を聞いていました。

お元気ポイント登録拠点の介護施設・介護事業所への説明会を開催しました



ボランティア受け入れ担当者が出席してくれました

お元気ポイント事業の変更点の説明とコロナ禍におけるボランティアの受け入れについて、アンケートを実施しました。その結果、施設利用者の余暇活動・楽しみが減り、介護施設へのボランティアは新たな活動を考えていく必要があることがわかりました。

コロナ禍で行える新たな活動について、ボランティアのみなさんのご意見を聞かせてください!



仲間づくり・健康づくり

お元気だより

2021年3月 第7号

シニアボランティアセンター
(矢板市社会福祉協議会内)
矢板市扇町二丁目4番19号
☎ 44-3000



荒井行政区きらきらサロン（荒井公民館）



10月に再開となり、久しぶりに集まることができました!

いきいき体操教室



運動の機会が減り凝り固まっていた体がほぐれて、気持ちも明るくなります!



脳トレ

間違い探しや簡単なクイズ形式で、認知症予防をしています



真剣に考えることで、脳が活性化



bingoゲーム



荒井地区のきらきらサロンは、行政区が主体となり毎月2回開催しています。昨年3月から9月までは新型コロナのため、行政区の役員会で話し合った結果、参加者の安心・安全を第一に考え休止の決定をしました。

平常時は、毎月1回目をいきいき体操教室とし、地元のボランティア（シルバーサポーター）が中心となり、ストレッチや体操を実施します。2回目は交流会で脳トレを行っています。

また、昨年の12月には、bingoゲームを行い、参加者全員が童心に帰ったように、「bingo!」の声とともに満面の笑みを浮かべ、賞品を手にする様子が目に焼き付いています。何よりも、参加者同士が仲良く楽しむことができる「ふれあいの場所」こそが、心の癒しであり、健康と長生きの秘訣であると、改めて感じました。

【荒井行政区きらきらサロン】
代表 荒巻 正

お元気ポイント

新型コロナの感染対応をとり、さまざまな工夫をして開催されていました

健康いきいきクラブ（塩田）



晴天の中グラウンドゴルフ

実習生の二人も、みなさんに教えてもらい初挑戦しました。
撮影の時だけマスクを外し、笑顔で記念撮影!

コリーナきらきらサロン（コリーナ公民館）



久しぶりの集合写真

普段は密を避けていますが、「写真を撮らせてください!」と
声をかけ、一瞬だけ集まっていました!

針生はまぎくの会（針生公民館）



シルバーサポーターによる健康体操

体を動かすのも、やっぱりみんなでやると楽しい!



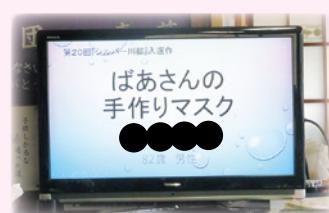
ご主人の代理で
受け取り

六区ひまわり会（六区公民館）



久しぶりに公民館に集まりました

感染対策のため、輪投げは駐車場で行っています。
寒い季節は、室内でゆっくりおしゃべりしたいですね。



正解は・・・
ばあさんの手づくりマスク
『息できず』でした!



シルバー川柳穴埋めクイズ

川柳の入選作で穴埋めクイズを作成。テレビに映し、みんなで考えます。ユーモアたっぷりの作品ばかりで、正解の発表があると笑いが溢れます。

正解者にはお菓子のプレゼントがありました!



スカットボール

みんなが見守る中、緊張の一打



手づくりの得点版 制作者山下敏昭さん こちらも手作りです。
ハッピーいきいきクラブを参考にし、得点の穴は植木鉢の受皿を
切り抜き、はめ込みました。「苦労もあったが作ること自体がとても
楽しかった。これなら寒い時期でも、室内でみんなで楽しめる。」
と話がありました。

拠点の活動紹介

NPO法人ワーカーズコープりんごの木(旧長井小学校)



生け花

毎月季節を感じられ、きれいな花
に気持ちが和みます。

針金工作

作品を制作中

りんご



ピーマンが完成しました!



りんごの木 職員

この他、健康体操、セラバンド体操、年に1度体力測定を行っています。どの活動も、初めての方もご参加いただけます。楽しく活動していますので、ぜひご参加ください。

りんごの木は、お住まいの地区に関係なく、参加できるサロンです。連絡先などは、社会福祉協議会にお問合せください。

出前講座

和紙で作るステンドグラス 片岡四区きらきらサロン(片岡四区公民館)



やいたシニアマイスター
郡司幸雄さん



作品の見本

後ろから光を
当てると、本物の
ステンドグラスの
ようです。



細かい作業で真剣



完成した作品を手に記念撮影!

2回にわたり、制作しました。細かなところまでこだわって、世界にひとつだけの素敵な作品に仕上りました。
苦労した分、完成の喜びもひとしおです!



「人形劇サークルたんぽぽ」による人形劇 山田きらきらサロン(山田公民館)

コロナ禍で思うような活動ができない状況が続く中、
サロンでは初めて「人形劇」の上演ができました!



人形劇「まんまるパン」

まんまるパンが、食べられないように逃げ回る
お話しです。話の展開にハラハラドキドキ



みなさん童心にかえって鑑賞していました。

他にも、紙芝居やリズム人形劇なども行ってくれました。





立志式のプレゼント贈呈

矢板市更生保護
女性会

令和3年2月に、今年の立志者(市内中学2年生)へ市内在住の方からの
絵手紙と会員が心を込めた手作りのストラップをプレゼントしました。

今後もこの活動を継続していきたいと思います。



泉中学校



片岡中学校



矢板中学校



矢板中学校沢分校



矢板東高等学校附属中学校

ご協力ありがとうございます

令和2年11月1日～
令和3年1月31日受付分
(順不同・敬称略)

＜社会福祉協議会会費＞

● 賛助会費

- ・有星野自動車整備工場 1,000円

● 特別会費

- ・大和屋 3,000円
- ・江部商店 3,000円
- ・有アクト電器 5,000円
- ・酒井優壽 30,000円

＜赤い羽根共同募金 令和2年度(1月現在)＞

■ 募金の目標額 3,777,000円

■ 実績額 3,865,011円

- | | |
|-----------|------------------|
| ■ 内訳 戸別募金 | 3,510,975円 |
| 職域募金 | 99,128円 |
| 法人募金 | 182,142円 |
| 物品募金 | 40,000円 |
| 個人募金 | 3,176円 |
| その他 | 29,590円 |

■ 募金の使いみち

- 老朽化した施設の設備改修
- 地域福祉活動、
福祉団体の育成
- 災害援護等

■ 募金の配分先と金額

- 矢板市社会福祉協議会 2,474,242円

＜歳末たすけあい募金 令和2年度＞

■ 実績額 1,846,680円

- | | |
|-----------|------------------|
| ■ 内訳 戸別募金 | 1,840,380円 |
| その他の | 6,300円 |

■ 矢板市内の配分先と金額

- 低所得世帯 39世帯 58人 623,000円
- ボランティア活動団体への助成(10団体) 275,000円

＜地域福祉振興基金(高原基金)＞

- ・小川幸夫 11,010円
- ・矢板市グラウンドゴルフ協会 2,000円
- ・木下ミサ子 28,000円

- ・矢板保育園
保護者会・職員一同 51,095円



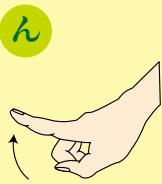
＜善意銀行預託＞

- ・安沢ほほえみ会 油、しょう油、洗剤、さつまいもなど、じゃがいも5kg、大根3本、里芋8kg、豆もち20kg、みかん箱3箱
- ・やすらぎの会 里いも15kg、ねぎ7kg、大根24本、キャベツ3kg、白菜5kg
- ・東京電力常庸職員労働組合宇都宮支部 大田原班 日光班 タオル50本

- ・小澤和枝 米60kg
- ・匿名の方々から 梅干し、味つけのり、缶詰め他、液体洗剤、うどん(乾麺)、調味料(しょう油など)、乾めん、お菓子、米80kg、米30kg、米10kg、みそ3kg、じゃがいも1袋、ペン1ケース、おりがみ100枚、さといも1袋、米8kg

わ
行

ちょっと指文字



自粛生活の中、断捨離にも飽き、「おうちごはん」のネタも尽き、我が家では長い間眠っていた夕方焼き器まで登場。「止まらない雨はない」とわかつてはいても少々疲れてしましました。そんな中、芸人のいとうあさこさんが、番組の中で今年の目標を尋ねられ「毎年『生きる!!』と決めております」と答えたことを知りました。「生きる!!」「シンプルですがこれ以上力強いことはばはあります。胸にストンと落ちました。もうすぐ芽吹きの春、令和3年度は皆様にたくさんお会いできますよう職員一同願っております。